



特別支援教育通信

～きらりって何?～

令和8年6月 29 日

清瀬市立清瀬第八小学校

校長 大森 雅之

特別支援教育コーディネーター

No. 1

きらりは清瀬市の特別支援教室です。きらりでは「ダイヤモンドになるところ」と子供たちに話をしています。ダイヤモンドの原石は磨くことで光を放ちます。どのように磨くと自分は輝けるのか、どんなダイヤモンドを目指すのかは一人一人異なります。自分が目指すダイヤモンドを輝かせる手助けをするために、きらりの教員はいます。友達と上手に付き合いたい、自分に合った学習法を見つけたい、気持ちを落ち着かせて楽しく学校生活を送りたい等、一人一人に合わせた目標を設定し、その目標を達成できるように週2時間程度の指導をしています。今回はきらりで指導している自立活動、きらりの入室、就学・転学相談についてお知らせします。

自立活動

きらりでは、国語や算数といった教科ではなく、「自立活動」を指導しています。自立活動とは、児童が自立し、学習上・生活上の困難を軽減するために必要な知識・技能・態度・習慣を養い、心身の調和的発達の基礎を培うものです。①体(健康の保持)、②気持ち(心理的な安定)、③関わり(人間関係の形成)、④見る・聞く・覚える(環境の把握)、⑤動き(身体の動き)、⑥話す(コミュニケーション)の6つに分けられており、例えば、下記のような指導をしています。

②気持ち(心理的な安定):勝敗の受け入れが苦手

勝った時の勝利のふるまい、負けた時のふるまいを考えさせる。負けても泣いたり怒ったりしないことで、楽しい活動が続けることができた経験をさせる。

④見る・聞く・覚える(環境の把握):見ることは得意だが聞くことが苦手

周りを見て行動する力を高めるために、目の動かし方の練習をする。聞き逃した時の対処方法を学び、実践する。正しい話の聞き方でゲームに取り組み、聞くことの良さを体感させる。

⑥話す(コミュニケーション):一方的に話してしまう

ボールやぬいぐるみを持って
いる人が話し、持っていない
人は話を聞く等、会話のルールを
視覚化することで「聞く」「話す」
のメリハリがつくようにする。



きらり入室について

きらり入室には保護者の方に準備していただく書類もあります。手続きには数か月かかることもありますので、お早めに学級担任にご相談ください。入室にかかる判定委員会は年5回あり、「入室適」の判定が出てから指導が始まります。

就学・転学について

特別支援学級への就学・転学の締め切りは以下の通りです。

相談内容	対象	申込期限
清明小学校(知的障害固定学級)	次年度入学者(中学校)	11月末
第十小学校(知的障害固定学級)	次年度から転学を希望する	10月末
第八小学校(自閉症・情緒障害特別支援学級)		

次回はおすすめ支援グッズ特集です。お楽しみに!